# 6月定例町議会

## 一般質問

6月定例町議会の一般質問には、5議員が登壇、空港対策、環境衛生、教育問題等を取上げ、執行部の所見をただしました。

## 将来は城山中心の大規模公園に

### 都市計画

問　空港周辺の八か市町村で進めている都市計画の進捗状況を伺いたい。

また、坂田池周辺の公園整備事業の中で、施設についてはどのようなものを考えているのか、用地計画ともあわせ伺いたい。

答　都市計画については、各市町村とも種々問題を抱えて足並みが揃わないのが実情だ。

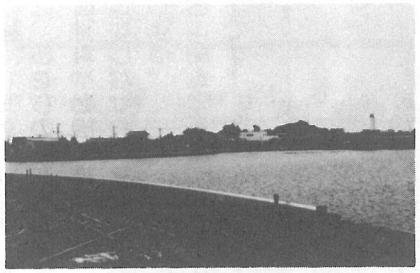
当町については、専門業者の作成した構想案に基づき内部協議を経た後、六十二年十二月に町の協議会に諮問、原案通り答申されているが、現在は県が中心となり建設省や農林水産省等関係機関と調整中であり、この協議が整い次第地元説明会に入る予定だ。

公園整備事業については、既に国の補助事業の認可を得ており、六十二年度から四か年の事業として実施する。

用地は当面代替地含みで五ヘクタールを確保する考えだが、昨年度までに三ヘクタールは取得済である。

多目的広場、展望広場、休憩施設、木造遊具等が主な施設である。

なお、公園の規模としては将来城山を中心として一〇ヘクタール程度の総合公園を目指したい。



着々と整備がすすむ坂田池

### 地盤沈下

問　天然ガスの汲み上げによる地盤沈下を心配するものだが、測定方法と今後の対応策について伺いたい。

答　ガス井戸は県知事の許可範囲であり、測定も県で行っている。

チェック方法は、県下一三六三基の水準測量をし、地盤の変動を把握している。

当町は、近隣市町村の中でも低い数値を示している。

また、九十九里一帯の市町村と県の環境部等で九十九里地盤沈下対策協議会を設置し、地域にある八企業と地盤沈下防止協定を給び、それに基づいて確認調整を行っているが、今後も監視の目を強めていく。

### 学校給食

問　材料はどのようなルートで納入されるのか。また受入れは誰がどのような基準で行っているのか。

町として、無農薬栽培、有機農法を推進させ、消費者や子供たちに安全で新鮮な野菜を供給できないか。

答　野菜類の納入については町の青果商組合に依頼している。毎日二業者が入っているが、納入の都度栄養士が検査し、悪いものはその場で返品交換している。

無農薬農法等の問題については、野菜栽培が発展した陰には化学肥料や農薬の大量使用による化学農法によって生産力を高めてきたという経緯があり、虫喰いや形状の悪いものは市場出しができないのも事実だ。しかし、消費者は常に安全でおいしく、新鮮なものを望んでいるので、町でも試験圃を設置し検討を加え、消費者ニーズに合った生産をすすめていきたい。

## 町との関連を重視

### 空港対策

問　空港の開港にあたっては、色々メリットが生じるものと大きな期待をかけた。

しかし、現実には騒音や落下物といったむしろ禍を受けている。

二期工事着工にあたり、町発展のため諸要求をすべきと思うが……

空港がもたらしたメリット、デメリットは何か、また将来展望についても伺いたい。

答　メリットとしては、騒音対策に付随したものだが、学校や保育所、集会施設の建設、補助事業の優先採択、雇用の拡大等があげられる。

デメリットは落下物と騒音である。二期工事が終了し完全空港になれば、この問題は更に深刻になることが予測されるので、完全解決を一層強力に働きかけていく。

一方、成田に向って道路網が整備されると、当町も工業団地の工場誘致、海岸開発と明るい展望が開けると思うので、町づくりの基本を空港と結びつけて考えていきたい。